

## 記者発表資料

平成27年5月29日  
九州地方整備局  
八代河川国道事務所

## 加藤清正由来の八の字堰再生ほか八代市域のかわまちづくりの現地視察を開催します

八代河川国道事務所では、球磨川の遙拝堰から河口部に至る下流域を対象として、以下3点に配慮した河川事業を行っております。

- ・八代市特有の歴史的な土木遺産を保存し、文化的機能に配慮する
- ・市民の憩いの場としての河川空間にふさわしい風景・景観や利活用等を工夫する
- ・アユをはじめとする魚類等にとって良好な生息等の場を保全・再生する

具体的には「①加藤清正由来の八の字堰の形状の復元と瀬の再生」「②萩原堤防の景観設計と利活用」「③河口域汽水域の干潟、ヨシ原の再生」について一部の事業が進んでおります。

特に①と②については、八代市の計画として、本年3月30日に国土交通省の「かわまちづくり支援制度」に、全国9自治体の1つとして登録されました。

この度、八代市長、八代市議会議員、地元国会議員・県議会議員を対象に、下記の要領で現地説明会を実施する運びとなりましたので、お知らせします。

1. 日 時 平成27年6月1日（月） 9時30分～12時00分
2. 集合場所 やつしろハーモニーホール 3階大会議室B （別紙1参照）
3. 対 象 八代市長、八代市議会議員、地元国会議員・県議会議員
4. 取 材 公開
5. 内 容 ・別紙2のとおり
6. 備 考 ・行程は別紙3のとおり。  
・現地視察箇所の概要は別紙4を参照願います。  
・現地視察に同行される場合は、自車をお願いします。  
・雨天の場合は、概要説明の後、状況に応じて視察箇所やスケジュールを変更する可能性があります。  
当日のお問い合わせは、下記あてにお願いします。

## ■問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 八代河川国道事務所  
河川環境課長 濱邊 竜一

河川環境課直通 TEL (0965) 32-7134

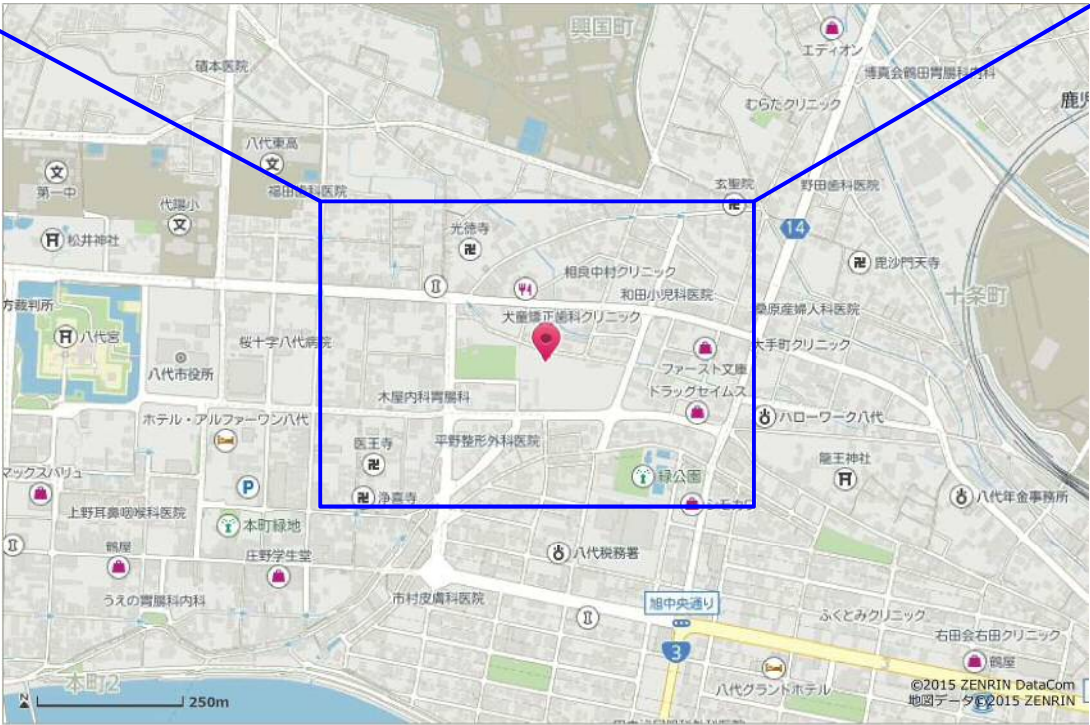
## ■当日の問い合わせ先

総務課 TEL (0965) 32-4135

会議場所: やつしろハーモニーホール 3階 大会議室B

住所: 八代市新町5-20

電話: 0965-53-0033



# 球磨川現地視察次第

日時:平成27年6月1日(月) 9:30~12:00

場所:やつしろハーモニーホール3階大会議室B

1. 開 会

2. 出席者代表挨拶 衆議院議員 金子 恭之

3. 球磨川下流域の概要説明 八代河川国道事務所長 堂 園 俊多

4. 現地視察 ～ 場所移動(大型バスにて) ～

①萩原地区  
(萩原堤防の景観設計と利活用)

②八の字床固施工予定箇所  
(加藤清正由来の八の字堰の形状の復元と瀬の再生)

③新萩原橋周辺地区  
(八代市の魅力あふれるかわまちづくり計画)

④中北地区  
(河口域・汽水域の干潟・ヨシ原の再生)

5. 閉 会

## 球磨川現地視察行程

6月1日(月)

9:30 やつしろハーモニーホール 3階 大会議室B 集合

9:30~10:00 やつしろハーモニーホールにて概要説明

(ここからバスで移動)

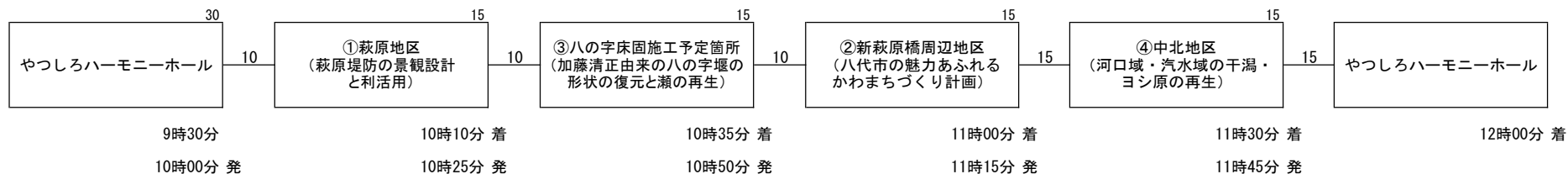
10:10~10:25 ①萩原地区  
(萩原堤防の景観設計と利活用)10:35~10:50 ②八の字床固施工予定箇所  
(加藤清正由来の八の字堰の形状の復元と瀬の再生)11:00~11:15 ③新萩原橋周辺地区  
(八代市の魅力あふれるかわまちづくり計画)11:30~11:45 ④中北地区  
(河口域・汽水域の干潟・ヨシ原の再生)

12:00 やつしろハーモニーホール 解散

# 球磨川現地視察の詳細行程

別紙3-2

視察日	平成27年6月1日（月） 9:30~12:00 （9:30 やつしろハーモニーホール 3階 大会議室B に集合）					
-----	--	--	--	--	--	--



### ①萩原堤防の景観設計と利活用

- ・萩原地区の堤防は拡幅及び浸透に対する対策が必要な箇所となっています。
- ・また、この地区は花火大会やイベント、祭り等で利活用が多い箇所でもあります。
- ・そのため、改修を行う際には景観や利活用のことを考慮しながら設計を行っています。



### ②加藤清正由来の八の字堰の形状の復元と瀬の再生

- ・河口から9k000付近に存在していた遙拝堰直下の広大な平瀬が現在消失しつつあり、その結果、球磨川の観光資源の1つでもあるアユ等の魚類が年々減少傾向にあります。
- ・遙拝堰は昭和40年代に現在の可動堰へと改築されていますが、それ以前は漢字の「八」の字の形をした堰でした。
- ・この堰は、約400年前に加藤清正により築造されたといわれており、その下流には良好な瀬が存在していました。
- ・アユをはじめとする水生生物の良好な生息環境を再生するため、遙拝堰直下に八の字堰を再現した床固めを施工し、かつてあった良好な瀬を再生する取り組みを行っています。



### ③八代市の魅力溢れるかわまちづくり計画

- ・八代市には様々な観光資源や歴史的建造物があるほか、全国花火競技会やスリデーマーチなどの各種イベントが球磨川を中心に開催されています。
- ・既存の観光資源を活かしつつ、各地の拠点を結ぶ動線の整備や各拠点の充実を図ることにより、八代市の観光の魅力を底上げし、観光振興を促進させるために球磨川を中心とした『球磨川・新萩原橋周辺地区かわまちづくり』に取り組みます。



### ④河口域汽水域の干潟、ヨシ原の再生

- ・球磨川中流部では治水を目的とした河道掘削を実施していますが、土砂の処分が課題となっています。
- ・そこで、球磨川の河口干潟に掘削した砂を覆砂して、かつて存在したヨシ原を再生させる取り組みを行っています。
- ・これにより、水質浄化や河口域を生息場とする魚類の保全を行います。

